別紙３

評 価 基 準

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
1	応募者の状況	法人の信頼性	法人において既に運営している事業所（施設）の運営状況が良好か。	□ 直近の運営指導において、改善報告書の提出を求められたことがない。（介護保険サービス事業所以外も含む） □ 上記以外	2 1	
			地域住民への説明は行われているか。 ※特定施設入居者生活介護は除く	□ 開設予定地の町内会や近隣住民をはじめ地域住民に対して十分な説明を行い、同意が得られている。（介護老人福祉施設の「転換」については、説明の有無に関わらず同意が得られているものとして取り扱う） □ 上記以外	2 0	
			入居者等への説明は行われているか。 ※特定施設入居者生活介護のみ	□ 既存の入居者や家族に対して十分な説明を行い、同意が得られている。 □ 上記以外	2 0	
			法人において運営している（していた）事業所（施設）の休廃止等について ※該当する場合のみ	過去3年以内に下記事項に該当する場合、真にやむを得ない事情だったと認められるか。 ・廃止や休止（現在継続中）をした事業所（施設）がある。 ・財産処分をした事業所（施設）がある。（抵当権の設定は除く） ・公募選定後に事業の実施を辞退したことがある。		△ 20
		法人の状況	本社・本部等の所在地が市内にあるか。	□ 市内 □ 市外	2 1	
			青森県介護サービス事業所認証評価制度への取組	□ 認証法人である。 □ 認証評価制度の参加宣言法人である。 □ 上記以外	2 1 0	
		事業運営の方針	設置の理念、運営方針は適切か。	① 設置に当たっての理念、応募理由（他業種からの参入や当市での事業展開を含む。）や事業目的が明確に示されているか。 ② 高齢化社会における介護に関する課題を把握しているか。 ③ 介護保険制度全般、当該サービスの人員・運営基準等関係法令をどの程度理解しているか。 ④ 事業運営の方針は適切か。 ⑤ 低所得者に対する利用者負担軽減制度を実施しているか。 ※介護老人福祉施設への応募者のみ		8
				小 計	8	8

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
2	整備計画	利用者等への配慮	利用者等へ配慮した整備方針となっているか。	① 利用者の特性に配慮した構造、設備となっているか。 ② スプリンクラー設備の設置など、防火防災安全対策に配慮した構造、設備となっているか。 ③ 来客用の駐車スペースは確保されているか。		5
		資金計画	施設建設に係る資金計画は妥当か。	土地の取得、建設費の資金計画が妥当であるか。 ・確実性のない収入を見込んでいないか。 ・借入れの場合、金融機関等との折衝が行われているか。		7
			事業運営に係る収支見込みは妥当か。	① 開設初期の事業運営経費に関する資金確保策は具体的であるか。 ② 収支見込みが具体的であるか。 ・利用者の見込み、要介護度は妥当か。 ・借入れの場合、償還財源が運営費に比して大きすぎないか。		
				小 計		12

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
3	職員の状況	職員の配置	職員の確保、勤務形態及び定着支援	① 開設時期に間に合う確保計画になっているか。 ② 職員の確保策に具体性はあるか。 ③ 職員が働き続けられるような配慮はあるか。（雇用形態、福利厚生、休暇、指導、相談体制等） ④ 安定的なサービスを提供できる勤務形態となっているか。		8
		職員の処遇	賃金改善等の取組	□ 既に運営している事業所（施設）において、介護職員等処遇改善加算を算定している。 □ 開設する事業所（施設）において、介護職員等処遇改善加算を算定する予定である。 □ 上記以外	4 2 0	
		職員の経験・専門性	経験・専門性のある職員の確保策	経験・専門性のある職員の確保策に具体性はあるか。		7
			職員の研修計画	① 職員の質の向上を目指した研修計画となっているか。 ② 認知症ケアに関する理解を深め、実践する研修計画となっているか。		
				小 計	4	15

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
4	利用者計画	医療機関等との連携	協力医療機関との連携体制	□ 協力医療機関・協力歯科医療機関との連携の目処が立っている。 □ 協力医療機関との連携の目処が立っている。 □ 上記以外	2 1 0	
		利用者の処遇	利用者への処遇は適切か。	① 食費・居住費等の料金設定は適正か。 ② 課題分析(アセスメント)、ケアプラン(介護計画)の作成及びサービス提供後のモニタリング等についての具体的な方針があるか。 ③ 認知症に対する考え方及び認知症ケアに対する具体的方針があるか。 ④ 重度者の受け入れ体制及び重度化や終末期に向けた方針があるか。 ⑤ 損害賠償保険の加入を予定しているか。		15
			事故防止対策は適切か。	① 介護事故等発生時の対応についての基本方針等、リスクマネジメントに対する取組について考えているか。 ② 感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスなど）や食中毒への対応が整備され、定期的な職員研修等を計画しているか。		5
		虐待防止等	虐待防止対策は適切か。	虐待の防止や対応に関する基本的な考え方や取組、それを実現し継続するための方策が具体的であるか。		5
			身体的拘束等の適正化について	身体的拘束等の適正化を図るための取組は適切か。		
		要望・苦情の把握	意見・要望等の把握について	利用者等からの意見・要望・苦情を的確に把握し、介護サービスの向上・改善につながる具体的な方策があるか。		5
				小 計	2	30

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
5	地域との連携	家族・地域との交流	家族・地域等との連携は確保される見通しか。	家族・地域住民との積極的な交流及び保健、福祉、医療機関等との連携が確保される見通しか。		8
		地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムへの取組は具体的であるか。	医療、居住施設、地域住民（老人クラブや町内会等）等との連携に向けた計画により、事業所（施設）機能の向上、地域の拠点としての役割を果たせるかどうか。		
				小 計		8

No.	大項目	中項目	内容	評 価 基 準	一次審査	二次審査
6	災害・安全対策	災害対策	災害対策は具体的に検討されているか。	① 地震、火災などの災害対策は適切か。 ② 災害時における停電、非常食、日用品等の備蓄、燃料の確保などの対策は具体的か。 ③ 災害発生時にも、必要な介護サービスを継続的に提供するための体制が整備されているか。 ④ 非常災害時において、避難等の際に地域住民の協力が得られるような方策があるか。 ⑤ 被災者の受け入れ体制についてどのように考えているか。		5
		安全対策	開設予定地が土砂災害警戒区域又は浸水想定区域にかかっていないか。	□ 土砂災害警戒区域（災害イエローゾーン）又は津波・洪水・内水等の浸水想定区域（浸水深1m以上）にかかっている。 □ 津波・洪水・内水等の浸水想定区域（浸水深1m未満）にかかっている。 □ 上記に該当するが、既存施設の増床または転換である。 □ 上記以外	△ 5 △ 3 0 3	
				小 計	3	5

No.	内 容	一次審査	二次審査
7	応募内容全体における評価		5
	小 計		5

	一次審査	二次審査
全体の配点	17	83
	合計	100